

CROS 補聴システム
フォナック クロス P
Phonak CROS P

取扱説明書



はじめに

このたびはフォナック社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
フォナック クロス Pはフォナック パラダイス シリーズ補聴器と一緒に使用する CROS 送信機です。

本書はフォナック クロス Pについて記載しています。本書および別紙「安全上のご注意」と、組み合わせて使用する補聴器の取扱説明書も必ずお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

取扱説明書で不明な点がありましたら、本書に記載されております「お客様相談窓口」までお問合せください。

1. フォナック クロス P 機種一覧

フォナック クロス P-13 (空気電池タイプ)	フォナック クロス P-R (充電タイプ)
	

2. 対応補聴器

フォナック パラダイス シリーズ補聴器	
クロス	補聴器
フォナック クロス P-13	フォナック オーデオ P-13T
フォナック クロス P-R	フォナック オーデオ P-R

3. 本体付属品

- フォナック クロス P 本体
- ハードケース
- 取扱説明書（本書）
- 保証書



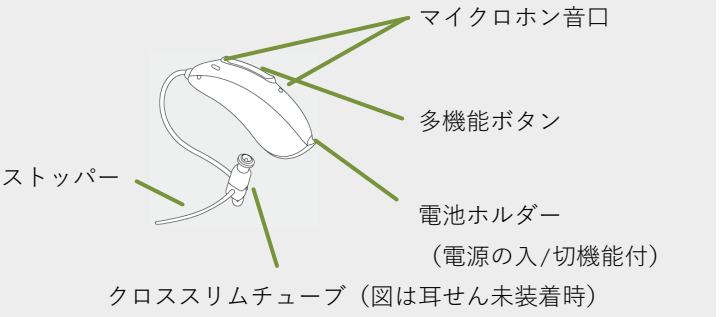
- 左右識別ピン
- クロススリムチューブ（耳せん含む）

以下はフォナック クロス P-13 にのみ付属します。

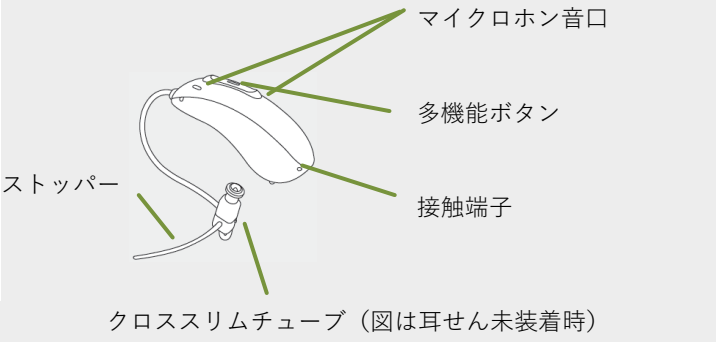
- 空気電池 PR48(13)
- 乾燥ケース

4. 各部の名称

フォナック クロス P-13 + クロススリムチューブ

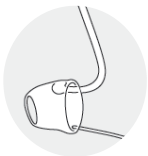
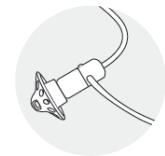


フォナック クロス P-R + クロススリムチューブ



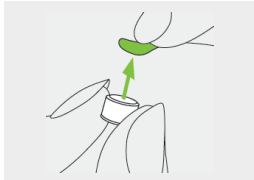
耳せん

ドーム型耳せん クロススリムチップ (オプション)

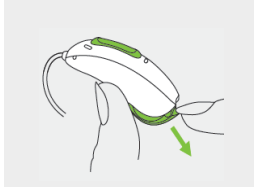


5. 電池の交換方法・充電の方法・電源の入れ方

フォナック クロス P-13



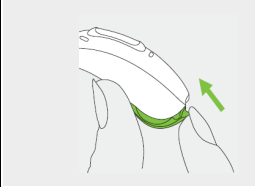
新しい電池の保護シールをはがします。
シールが貼ってある側が（+）面です。



電池ホルダーを開け、使用済みの電池を取り出します。
電池ホルダーを開けることで電源が切れます。



新しい電池を入れます。電池の（+）面が図の方向になるように入れます。



カチッと閉まるまで、電池ホルダーをゆっくり押します。
電池ホルダーを閉めることで電源が入ります。

注意点：

- 電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。
- 電池ホルダーがうまく閉まらない場合には、電池が正しく収納されているか確認してください。電池がプラスマイナス逆向きに収納されている場合、きちんと閉まりません。無理に閉じると故障の原因となります。
- フォナック クロス P を使用しない場合は、電池ホルダーを開けたまま保管してください。

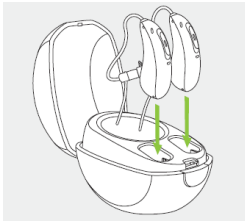
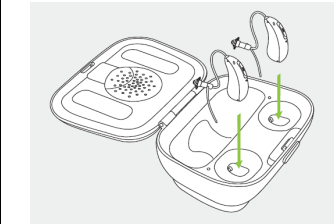
フォナック クロス P-R

クロス P-R には、リチウムイオン電池が内蔵されています。ご使用前に別売りの専用の充電器を使って充電してください。クロス P-R を充電器からとり出すと、自動的に電源がオンになります。この機能が設定されていない場合は、多機能ボタンの下部を LED ランプが緑色になるまで約 3 秒間押します。電源をオフにする場合は LED ランプが赤色に点灯するまで、ボタンの下部を約 3 秒間押し続けます。

充電は充電器の差し込み口に、クロス P-R 本体を入れます。充電中は、本体の LED ランプが緑色に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。

※下図は補聴器と一緒に充電している例になります。

チャージャーケース Combi ミニチャージャーケース



互換性のある充電器は以下をご確認ください。

- チャージャーケース Combi
- ミニチャージャーケース
- チャージ アンド ケア
- チャージャー BTE RIC

6. フォナック クロス P の使用可能時間

フォナック クロス P-13	約 107 時間
フォナック クロス P-R	約 12 時間

フォナック クロス P の電池寿命お知らせ音

電池寿命が残り僅かになると、補聴器から電池寿命お知らせ音（2 ビープ）が聞こえます。

7. フォナック クロス P の装用方法

フォナック クロス P には左耳用／右耳用があります。
装用の前にご確認ください。

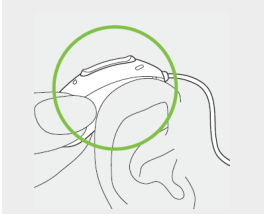
フォナック クロス P-13 および R



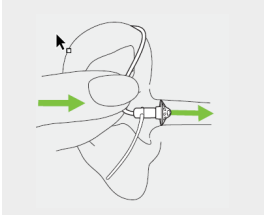
フォナック クロス P の装用方法

クロススリムチューブ + ドーム型耳せん、クロスチップの場合

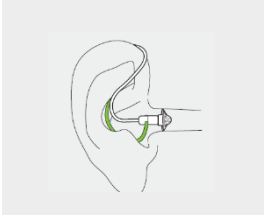
1. 耳の上部にフォナック クロス P を乗せます。



2. クロススリムチューブをつまんで図のように持ちます。外耳道に耳せんまたはクロスチップをゆっくり押し込みます。



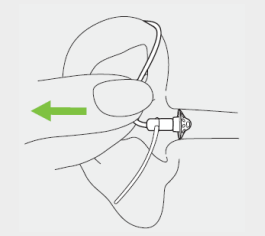
3. ストッパーがある場合は図のように耳のくぼみに沿うようにはめま
す。最後に、図のように収まっているか指でなぞってご確認ください。



- ストッパーが長い場合は、少し切り取ることも可能です。その際、固定できないほど短くしないように十分気をつけてください。
- 耳せんは、チューブから外れないように作られていますが、万が一耳せんが中に入ってしまった場合には、ただちに医療機関にご相談ください。

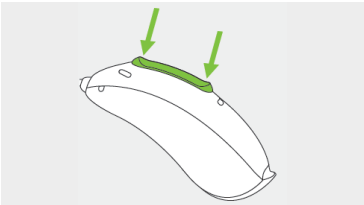
フォナック クロス P の取り外し方法

クロススリムチューブをつまんでゆっくり耳から外してください。
クロスチップの場合は取り出しテグスをつまんでゆっくり取り出してください。

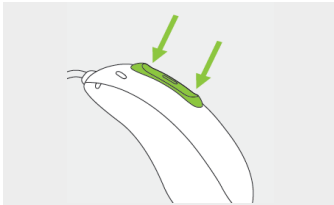


8. 多機能ボタンについて

フォナック クロス P-13



フォナック クロス P-R



プログラム切り替えなど、多機能ボタンの機能については基本的に一緒に使用する補聴器に依存します。CROS 補聴システム使用時のボリュームコントロールについては以下をご参照ください。

CROS マイクロホン使用時

操作する多機能ボタン	補聴器側	クロス P 側
機能	ボリューム	CROS バランス

CROS マイクロホン不使用（補聴器のマイクロホンのみ）

操作する多機能ボタン	補聴器側	クロス P 側
機能	ボリューム	ボリューム

音声ストリーミング時

（ロジャー・Bluetooth・テレビコネクターなど）

操作する多機能ボタン	補聴器側	クロス P 側
機能	環境音バランス	環境音バランス

※ 充電タイプはボタンの下部を長押しすると、電源の入／切が可能です。

多機能ボタンに設定されている機能については、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

9. タップコントロール

一緒に使用する補聴器がオーディオ P-90 およびオーディオ P-70 の場合、クロス P でもタップコントロールが利用可能です。タップコントロールについては、補聴器の取扱説明書をご参照ください。

10. Bluetooth 対応デバイスとのペアリング

デバイス（携帯電話など）で、Bluetooth ワイヤレステクノロジーが有効になっていることを確認し、接続設定メニューで Bluetooth 対応デバイスを検索しペアリングします。初回のペアリング後、CROS システム（補聴器とクロス P）は自動的にデバイスに接続されます。最初のペアリングには最大 2 分かかります。

- デバイス（携帯電話など）で、Bluetooth ワイヤレステクノロジーが有効になっていることを確認し、接続設定メニューで Bluetooth 対応デバイスを検索します。
- 補聴器とクロス P の両方の電源を入れます。CROS システムをデバイスとペアリングするのに 3 分ほどかかります。

- お使いのデバイスには、Bluetooth 対応デバイスのリストが表示されます。リストから補聴器を選択して、CROS システムをデバイスとペアリングします。ペアリングが成功するとピープ音が鳴ります。

11. 携帯電話で通話する

CROS システムは、Bluetooth 対応の電話に直接接続します。 ペアリングして電話に接続すると、補聴器で発信者の声が直接聞こえます。 自分の声は補聴器のマイクで拾われ、電話に送られます。

- 電話をかける
電話番号を入力し、ダイヤルボタンを押します。
補聴器からダイヤルトーンが聞こえます。自分の声は補聴器のマイクで拾われ、電話に送られます。
- 電話を受ける
電話を受けると、補聴器で電話通知が聞こえます。
補聴器またはクロス P の多機能ボタンの上部または下部を短く押す（2 秒未満）またはフォナック クロス P-R の場合、耳の上部を 2 回タップする（モデル P90 および P70 のみ使用可能）ことで、通話に応答できます。
- 通話の終了
通話を終了するには、補聴器またはクロス P の多機能ボタンの上部を長押しする（2 秒以上）またはフォナック クロス P-R の場合、耳の上部を 2 回タップします（モデル P90 および P70 のみ使用可能）。
- 通話の拒否
着信は、補聴器またはクロス P の多機能ボタンの上部または下部を長押しするか（2 秒以上）、または電話で直接拒否することができます。

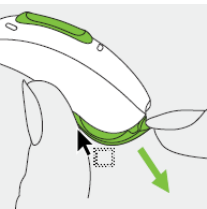
12. 機内モード

CROS システムは、2.4 GHz～2.48GHz の周波数範囲で動作します。飛行中は機内モードに切り替える必要があります。 機内モードに入っても、通常の補聴器機能は無効にならず、クロス P からもう一方の耳の補聴器への音声のワイヤレス送信を含む Bluetooth 接続機能のみが無効になります。

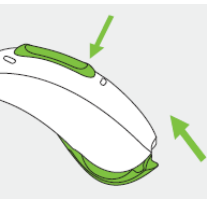
機内モードに変更する

フォナック クロス P-13 の場合

- 電池ホルダーを開けます。



- 電池ホルダーを閉めながら、同時に多機能ボタンの下部を約 7 秒間押し続けます。（機内モードになると携帯電話との接続は切断されます）



フォナック クロス P-R の場合

- クロス P の電源がオフになっている場合は、手順 2 に進みます。
クロス P がオンになっている場合は、LED ランプが 2 秒間ほど赤く点灯するまでボタンの下部を約 3 秒間押し続けて電源をオフにします。
- ボタンの下部を長押しします。 クロス P が起動すると、緑色の LED ランプが点滅します。
LED ランプがオレンジ色に点灯するまでボタンを約 7 秒間押し続けてから、ボタンを放します。
オレンジ色の点灯は、クロス P が機内モードにあることを示しています。

機内モードを終了する

各デバイスでワイヤレス機能を有効にし、機内モードを終了します。クロス P のスイッチをオフにしてから再度オンにします。
フォナック クロス P-13 の場合
電池ホルダーを開けて、再度、電池ホルダーを閉めます。

フォナック クロス P-R の場合

LED ランプが赤色に点灯するまで、ボタンの下部を約 3 秒間押し続けます。次に多機能ボタンの下部を LED ランプが緑色になるまで約 3 秒間押します。

13. ロジャーおよびワイヤレスアクセサリー

フォナック クロス P はロジャーおよびデジタルワイヤレスアクセサリーと併用することができます。ただし、これらのアクセサリと CROS システムは同時に使用することはできません。

14. 再起動する（クロス P-R）

クロス P-R がエラー状態の場合は、以下の方法で再起動してください。 これにより、プログラムや設定が削除または削除されることはありません。

- 多機能ボタンの下部を 15 秒以上押します。 ボタンを押し始める前に、電源をオンにするかオフにするかは関係ありません。15 秒の終わりに LED ランプまたは音の通知はありません。
- クロス P-R を電源に接続された充電器に差し込み、LED ランプが緑色に点滅するまで待ちます。これには最大 30 秒かかる場合があります。LED ランプが点滅したら再起動完了です。

15. トラブルシューティング

音が小さい・出ない

- 音量が小さい
 - ✓ ボリュームを調節してください。
- 電池が入っていない
 - ✓ 電池が正しく入っているか確認してください。
- 電池が消耗している
 - ✓ 電池の残量があるか確認してください。

- 耳から浮いているもしくは外れている
 - ✓ 正しく装用されているか確認してください。
- レシーバーの音口が詰まっている
 - ✓ 耳せんを交換してください
 - ✓ 補聴器の耳あかガードを交換してください

お知らせ音が鳴っている

- 電池残量が残りわずか
 - ✓ 電池を交換して下さい。（13 タイプ）
 - ✓ 充電してください。（R タイプ）
- 補聴器とフォナック クロス P の通信が途切れた
 - ✓ 正しく耳に装用して下さい。
 - ✓ 電池/充電の残量があるか確認してください。

電池がすぐに切れる

- 電池の品質が低下している
 - ✓ 使用期限の経過した電池を使用していないか確認してください。（13 タイプ）
 - ✓ 内臓のリチウムイオン電池が消耗しているかもしれません。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。（R タイプ）

ハウリングが起こる

- 耳せんが正しく挿入されていない
 - ✓ 補聴器がしっかりと耳に装着されているか確認してください。

上記のとおり行っても症状が改善しない場合や、その他の症状が発生した場合は、お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

販売店名

製造販売業

ソノヴァ・ジャパン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8

天王洲パークサイドビル

TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口）

FAX 0120-23-4080

www.phonak.com/jp/ja



PHONAK
life is on

A Sonova brand

CROS 補聴システム
フォナック クロス P

Phonak CROS P

安全上のご注意



はじめに

この「安全上のご注意」と取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

取扱説明書で不明な点がありましたら、本書に記載されております「お客様相談窓口」までお問合せください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

- お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

 禁止	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
---	--

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「損傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

 禁止
- 下記の項目に該当する場合は、本製品および補聴器を使用しないでください。 - 耳の治療中の方、外耳道に痛みまたはかゆみがある場合 - 最近 3 か月以内に耳漏があった場合 - 最近 2 か月以内に聴力が低下した場合 - 最近 1 か月以内に急に耳鳴りが大きくなった場合 - 耳あかが多くたまっている場合 - 音量を大きくしすぎないでください。 - 騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。 - 強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。 - 分解、改造をしないでください。 - レントゲン撮影、CT スキャンなどの画像診断機器は本製品および補聴器に悪影響を及ぼします。これらの機器を用いた撮影を受ける前には耳から外し、撮影室の外に置くことをお勧めします。また MRI スキャンは強い磁力を用いますので、MRI 室に入る前には必ずお外しください。 - 過度の湿気や高温な場所は避けてください。特に夏場は、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。 - 内部に水が入ると故障する恐れがありますので、水にぬらさないでください。また、強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。（例：お風呂に入るとき） - 電池は火中に投げ入れないでください。

 警告
- ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないでください。万が一、誤って電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。電池の誤飲によって化学やけどを引き起こす可能性があります。 - 使用中および保管時に異臭、発熱、変色、変形など今までと異なる症状がある際には、直ちに使用を中止してください。 - 航空機内など電子機器の使用を禁止された区域で使用する場合は、各区域の指示に従ってください。 - 電子機器や医療用電気機器に影響を与える場合があります。病院など電波を発する機器の使用に制限がある場所では各機関の指示に従って下さい。 - ペースメーカーなど医療機器の装用者が本製品を使用する際は医療機器製造会社や医師の指示に従ってください。

 注意
- 電子レンジや IH 調理器などの電磁波を発する機器の近くでは、雑音が発生することがありますが故障ではありません。機器から離れるか、もしくは補聴器を耳から外してください。 - フォナック クロス P はあらかじめ調整されたフォナック パラダイス シリーズ補聴器と共にご使用ください。 - 過度の湿気や温度を避けてください。特に夏の時期、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。 - 使用しないときは電池ケースを開き電源を切ってください。また使用後は乾燥ケースなどに保管してください。 - 電池交換の際は必ず新しい電池と交換してください。 - 長期間使用しないときは必ず電池ホルダーから電池を抜いてください。 - 使用済みの電池は、各自自治体指定の方法により処分をしてください。 - 指向性マイクロホンにより後方からの音が聞こえにくくなることがありますのでご注意ください。 - 弊社によって動作確認されたアクセサリのみを使用してください。 - 誤って耳から外れてしまった場合など、フォナック クロス P との接続が切断された場合はそのことが補聴器からメロディで提示されますのでご確認ください。 - 内部に水が入ると故障する恐れがありますので、強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。

その他の注意点

- 本製品の修理はソノヴァ・ジャパンまたはソノヴァ・ジャパンの指定するサービスセンターでのみ可能です。
- フォナック クロス P を使用する際、補聴器は通常よりも多くの電流を必要とします。そのため、補聴器の電池寿命がカタログなどに記載されている時間より短くなりますが、補聴器の故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

防塵・防水機能に関する情報と注意

フォナック クロス P-13 および R は下記の防塵・防水機能が備わっています。この機能を維持するため、本項目の注意点をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

機種名	保護等級
フォナック クロス P-13 フォナック クロス P-R	IP68

一般的な注意点

- ヘアスプレーやその他の化粧品を使用する場合、補聴器のききとりに影響が発生する可能性がありますので、耳から取り外した後にヘアスプレー等をご使用ください。

使用上における注意

- フォナック クロス 13 は電池ホルダーが完全に閉じた状態でのみ防塵・防水機能を担保します。髪等が挟まれないように電池ホルダーを完全に閉じてご使用ください。
- 汗や埃が多くついてしまった場合、乾いた布等できれいに拭き取ってください。
- 日頃のケアや定期的な点検に関しては、以下をご参照ください。
 - スキューバダイビング、潜水、水上スキーやその他の水上でのアクティビティをされる前にはフォナック クロス P を取り外してください。
 - フォナック クロス P-13 に水が付着することで電池への空気供給が制限されて一時的に動作が止まることがあります。その場合は、柔らかい布もしくはティッシュで水分を拭き取り、濡れていないことを確認してから、電池ホルダーを開けて空気を供給してください。
- 防塵・防水機能を維持するために、異常の有無にかかわらず一年に一度のメーカーによるメンテナンスをおすすめします。

